

3月21日は「バルブの日」

バルブ・水栓
特集

バルブ業界の持続的な 発展に期待を込めて

3月21日は

「バルブの日」

2009(平成21)年

3月、バルブ産業の地位
向上を目指す日本バルブ
工業会(本部所在地:東京
京都港区芝公園、会長:
西岡利明氏・SANEI
社長)は毎年3月21日を
「バルブの日」として制
定した。「バルブの日」
を同月同日とするにつ
いては同委員会企業から
多数の提案が寄せられ
た。このうち、広報委員
会にて慎重に審議した結果、同
会の発足日である3月21
日を「バルブの日」とす
ることが定められた。日
本バルブ工業会は、19
54(昭和29)年3月21
日に発足。2024年に
創立70周年を迎え、今
活発な活動を続けている
が、広報委員会が考
える現在の課題はバルブ産業
そのものの社会における
認知度の向上だとい
う。「バルブ業界を志す若
者が増えるよう、そして
バルブ産業に携わる人
たちがより大きな誇りをも
って働けるよう、今後も

さまざまなカタチでバル
ブ産業のPRに努めてい
きます」とコメントして
いる。

バルブは「流す」

「止める」「絞る」

機器

我々の生活のなかで一
番身近なバルブは水道の
蛇口だ。水を飲みたい時
には蛇口を開けて水を
出し、出し過ぎたかと思
ったらずに閉め、コップ
に水を注ぎ終わったら蛇
口をきっちり閉めて水を
止める。このように我々
は水道の水を思った通り
に流したり、止めたり、
量を調整したりすること
ができる。その他にも、
普段の生活ではあまり目
にしないかもしれないが
工場やビルの中、車や船
や宇宙ロケットの中で
バルブはさまざまな場
所で使われている。バル
ブは「流す」「止める」
「絞る」という3つの機
能を備えている。これら
の機能を実現するために
さまざまな材料や技術が
使われている。バルブは
私たちの生活に欠かせな
い存在だ。

呼び名はバルブ?

弁?

バルブは、日本語では
「弁(べん)」と呼ぶ。
その使い分けの基準につ
いてあまり厳密なルール
があるわけではないが、
安全弁、調整弁、スプ
レンス弁、のようにな
らば、修飾語が付く場
合には「弁」を用いる
ことが多い。単独で用
いる場合は「バルブ」
ということが多い。こ
れと同じように「バル
ブ」という言葉がある。
慣習のようになっている。
ただし、このような場
所で使われているバル
ブの中には水だけでなく
油、熱湯、蒸気、食
物の原料、400度以上
の高温の油、ガソリン、
危険な薬品、目に見え
ないガスや空気、マイ
ナス200度未満の低温
液体になったガスなど
実に様々な流体で使
われている。このような
流体でも、しっかりと「
流す」



イメージ

「バルブ用語」なのに、
中に出てくる用語は水
栓関係のものを除けば、
ほとんどが「〇〇弁」と
なっている。一方で「ゲ
ート弁」「ボール弁」
「ボール弁」のように修
飾語がカタカナの場合、
どちらのケースもよく使
われている。本来の英
語名称をカタカナにし
て、その当り前かもし
れないが、そうした傾
向はあるようだ。ちな
みに、水道の蛇口は正
しくは「給水栓」だ。水
回りのバルブの多くは
「〇〇栓」(例えば止
水栓、分水栓)という
呼び方をされる。結
局のところ、その
呼び方をする人が多
ければその用語が定
着する。今後とも変
わっていくであろう

バルブの歴史

バルブの起源を辿ると
紀元前1000年頃の古
代エジプトの遺跡から
掘り出されたコック(樽
につける栓)のことで、
バルブの一種と推定さ
れる。木製のものが主
で、古くから使われて
いた。時代は古くとも
水道のパイプが敷かれ
るようになった。金属
製のバルブは2000年
以上前から実用化され
ていた。水道は、水
を運ぶだけでなく、船
でも使われていた。古
くから使われていたが
金製のバルブが主流
だった。1863(文久3)
年、紡績用のボイラー
が輸入されたとき、一
緒に入ってきたのが最
初のバルブだといわれ
ている。国内で製造さ
れたのは明治に入って

環境配慮バルブ 登録制度

日本バルブ工業会は、
2007(平成19)年に
策定した「バルブ産業
環境配慮設計基準」に
基づき、環境配慮バル
ブの登録制度を設け
た。登録されたバル
ブは、環境配慮設計
基準に準拠して設計
・製造されている。こ
の登録制度は、バル
ブ産業の環境配慮を
促進し、消費者の環
境意識を高めること
を目的としている。2
016(平成28)年11
月、「環境配慮バルブ
登録制度」がスタート
した。登録対象は、
バルブの製造・販売
を行う企業である。登
録されたバルブは、
環境配慮設計基準に
準拠して設計・製造
されている。この登
録制度は、バルブ産
業の環境配慮を促進
し、消費者の環境意
識を高めることを目
的としている。2016
(平成28)年11月、
「環境配慮バルブ登
録制度」がスタート
した。登録対象は、
バルブの製造・販売
を行う企業である。登
録されたバルブは、
環境配慮設計基準に
準拠して設計・製造
されている。この登
録制度は、バルブ産
業の環境配慮を促進
し、消費者の環境意
識を高めることを目
的としている。

から、横浜市が188
5(明治18)年に水道
事業を開始し、続く
東京



SY-40R 手動洗浄機能付きストレーナ

スクリーン洗浄作業、効率化の決め手

ハンドルを回すだけ!

作業工数86%削減!

(当社比150A参考値)

液体に触れることなく

異物を排出できます。

スプリングアジャスト機能を採用。

ブラシが異物を確実に捉えます。

パンチング網の導入により、

耐久性と除菌性の両立を実現。



YOSHITAKE 株式会社ヨシタケ 〒485-0084 愛知県小牧市入道新田宮前955-5
エンジニアリング事業部 TEL 0568-75-4336 FAX 0568-72-6268

ガスの事業化などにより
バルブ製造工場が造られ
るようになった。大正の
初期までは水道・ガス・
紡績用の青銅弁が需要の
中心だったが、第二次世
界大戦後に我が国の産業
が急速に発展したこと
を背景に、バルブの製
造材料も鉄鋼製・鋳鋼製
のバルブも作られるよう
になった。第二次世界大
戦後には復興建設資材と
して設備の高度化を支
えるためにいろいろな種
類が生み出され、その用
途も拡大していった。

を備えている。それを、
環境配慮設計基準(含有
有害物質規制、リサイク
ル率目標、LCA管
理など)に基づきモノ
づくりを行っているバル
ブ産業のあるべき姿と
して、この将来像を具
現化し、全産業規模で環
境に寄与すること、ま
た、環境配慮設計に取
組んだ同業協会企業
の製品が国内外へのア
ピール、環境負荷の少
ない製品、環境負荷の
少ない製品、環境負
荷の少ない製品、環
境負荷の少ない製品
を目的として、2016
(平成28)年11月、
「環境配慮バルブ登
録制度」がスタート
した。登録対象は、
バルブの製造・販売
を行う企業である。登
録されたバルブは、
環境配慮設計基準に
準拠して設計・製造
されている。この登
録制度は、バルブ産
業の環境配慮を促進
し、消費者の環境意
識を高めることを目
的としている。

プ類・フリーバルブ
給水栓・手動式・電気
式のキッチン用・バス
洗面用・その他用
止水栓・分水栓。本
制度に登録される製
品は、会員登録が自
ら行われる。登録製
品(従来品がない場
合は新規設計目標値)
との相対比較によ
って環境側面を自己
評価した製品であ
る。着目すべき環
境への影響は、①製
造・使用段階でのエ
ネルギー消費量削減
と、それに伴うCO
2排出削減。②製造・
使用・廃棄の各段階
での資源の有効活用
・再資源化。③その
評価は同業協会発行
「バルブ製品アセス
メントガイドライン」
に規定する製品評
価項目に沿って実
施される。

PrePashu+
予洗い水栓「プレパシュ+」
品番: Y49

SANEI 株式会社 名古屋支店/名古屋市天白区平針2-909
本社/大阪市東成区玉津1-12-29 TEL/052-800-8688 FAX/052-800-8688

株式会社 原芳商会
本社 名古屋市昭和区緑町3-26 TEL (052) 732-5211(代)

市場開発部(40名)	TEL (052) 744-0171(代)	岐阜営業所	TEL (056) 253-3611(代)
市場開発部(40名)	TEL (052) 380-6031(代)	各務原営業所	TEL (056) 371-4180(代)
営業部	TEL (052) 745-8150(代)	大垣営業所	TEL (0564) 87-3505(代)
営業部	TEL (052) 709-5211(代)	三河朝日営業所	TEL (059) 376-3111(代)
営業部	TEL (052) 732-2211(代)	津営業所	TEL (059) 236-6830(代)
営業部	TEL (0568) 83-1121(代)	東浦営業所	TEL (0562) 82-0050(代)
営業部	TEL (052) 811-1101(代)	安城営業所	TEL (0566) 73-5010(代)
営業部	TEL (052) 412-2131(代)	南在座センター	TEL (052) 811-1101(代)
営業部	TEL (0561) 72-3211(代)	和合在座センター	TEL (0561) 72-3290(代)
営業部	TEL (052) 903-4141(代)		

2.0MPa ステンレス鋼製 減圧弁

高い次元で圧力を制御します。

建築設備の給水給湯システム、
工場設備、プラント設備などの圧力制御に使用

- 接液部 ステンレス鋼製
- 一次側適用圧力 2.0MPa 対応
- 従来の高圧用に比べ 低騒音
- 水道法性能基準適合品 (RD-55N型)

NEW RD-55型

空気調和・衛生工学会規格 SHASE-S 106 準拠品

名古屋営業所 ☎052(411)5840
静岡出張所 ☎054(297)5488

本社 〒231-0013 神奈川県横浜市中区住吉町3-30 ☎045(227)5241

新型 スロップ シンク

名古支店 〒452-0847 名古屋市西区南郷町62番地
TEL.052-504-1551 FAX.052-504-1550

岡崎営業所 〒444-0918 岡崎市日名中町4番地2
TEL.0564-65-3121 FAX.0564-65-3122

カフダイ https://kakudai.jp